

表やグラフで表されたことから、いろいろなことからの関係性について知ることができます。

1 表1より、地点B、地点Gの標高はそれぞれ200m、1200mであることがわかります。これより、2地点の標高差は1000mとなります。

2 表1より地点B付近とG付近の標高差200mごとの等高線間の距離^{きより}を比べると、地点B付近は広く、地点G付近は狭くなっていることがわかります。また図1より、地点B付近は傾きがゆるやかで地点G付近は傾きが急になっていることがわかります。

川の下流は川幅が広く、水の流れがおだやかなのに対して、川の上流は川幅が狭く、水の流れが急になっています。

3 表2の川の河川縦断面図を図1に重ね合わせると、図2のようになり、この川の方が傾きがゆるやかであることがわかります。

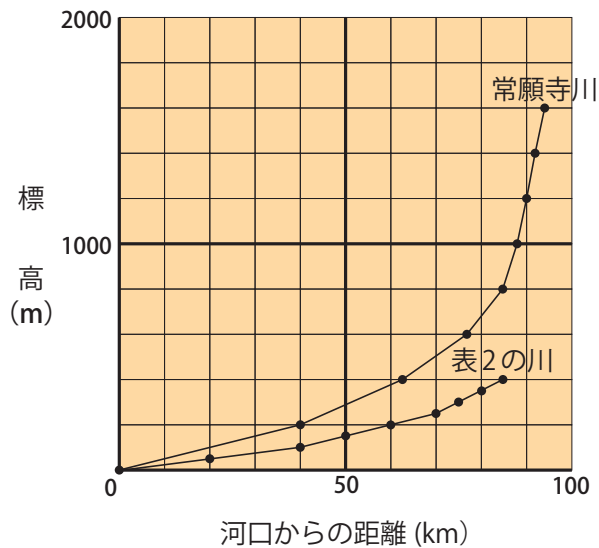


図2

[平成19年度出題]

正解

1. 1000m

2. ア

3. イ